

高齢者向け新型コロナワクチン 5月12日から接種が始まります



本市では4月15日から高齢者施設での接種が始まっており、5月12日(水)からは高齢者向けの接種が始まる予定です。

ワクチンについて正しく理解した上で、接種について判断しましょう。

※情報は全て4月12日時点の情報です。新型コロナワクチンに関する情報は、厚生労働省ホームページを参照しました。

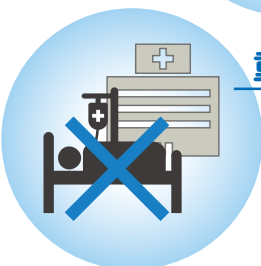
ワクチンの目的

感染症の発症を予防し、死亡者や重症者をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図ります。

発症予防



重症化予防



ワクチンの効果

今回承認されたファイザー社の新型コロナワクチンは、2回の接種で95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を防ぐ効果が認められています。これは、インフルエンザワクチンの有効性が約40〜60%であることから、高い数値になっています。

新型コロナウイルスは、まだまだ未知の部分があります。同ウイルスの感染により、国内では令和3年1月31日時点で、6000人以上が亡くなり、3万人以上が入院しています。このような状況で、国

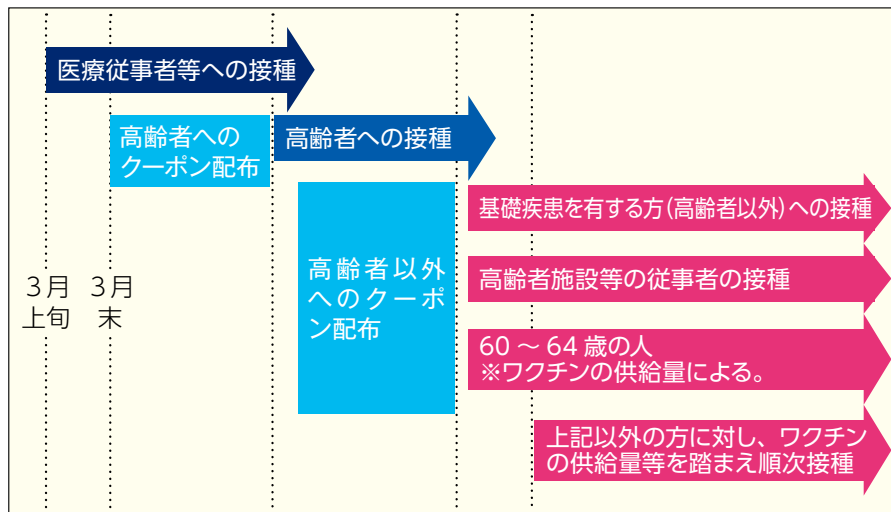
はワクチン接種により、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を軽減できることを期待しています。

ワクチンの副反応

どんなワクチンでも、接種後には副反応が起こる可能性があります。治療を要したり、障害が残るほどの副反応は極めてまれではあるものの、ゼロではありません。国は、同ワクチンを承認し接種を進めるにあたり、国内外の数万人のデータからメリットが大きいことを確認していますが、ワクチンについて正しく理解し、今後の情報にも注意しながら、接種を検討してください。

今後のワクチン接種スケジュール

高齢者以外の方については、今後、市へのワクチンの供給状況などを確認しながら、順次ワクチン接種の対象者へ接種クーポンや案内チラシなどを郵送します。最新情報については、市ホームページまたは市新型コロナワクチン接種コールセンターへご確認ください。



新型コロナワクチン **Q** & **A**

Q 基礎疾患や持病があり薬を飲んでいますが、接種はできますか？

A 薬を飲んでいるため、ワクチンが受けられないことはありません。ただし、基礎疾患がある方は免疫不全や病状が重い方など接種について慎重に検討した方がよい場合があるため、かかりつけ医とご相談ください。

また、抗凝固薬(血をサラサラにする薬の一部)を服用している方は、ワクチン接種後2分以上しっかり押さえてください。服用中の薬が抗凝固薬に該当するか不明な方は、かかりつけ医などにご確認ください。

Q どのような副反応がありますか？

A ファイザー社のワクチンでは、接種後に接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱などがみられることがあります。これらの大部分は、接種後数日以内に回復します。

その他のワクチンでも、ワクチン接種と因果関係がないものも含めて、接種後に接種部位の痛みや、頭痛、倦怠感、筋肉痛などの症状がみられたことが論文などで発表されています。

また、海外では、まれにアナフィラキシー(急性のアレルギー反応)が発生したことが報告されています。もし、アナフィラキシーが起きたときには、接種会場や医療機関ですぐに対応します。

Q ワクチンを接種した後も、マスクは必要ですか？

A ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、ワクチンを受けた方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。

また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

そのため、引き続き皆さんに感染予防対策を継続していただくため、マスクの着用にご協力をお願いします。

Q もし副反応による健康被害が出たら？

A ワクチン接種では、一時的な発熱や接種部位の腫れ・痛みなどの副反応以外にも、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすることができないことから、救済制度が設けられています。

申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

その他新型コロナワクチン全般に関する詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください→



昭和 32 年 4 月 1 日以前に生まれた方

ワクチン接種予約受付が始まります

市では、4月26日から、高齢者を対象に新型コロナワクチン接種の予約受け付けを開始しています。対象者には、クーポンを同封した書類を郵送しています。

接種会場と予約開始時期

本市のワクチン接種は次の会場で実施します。各会場へはできる限り公共交通機関でお越しください。また、一部、郵送した案内チラシから開場時間が変更されています。こちらに記載の時間を目安に予約をお取りください。なお、ワクチンの供給状況により今後変動する可能性があります。

公共施設

市民文化会館は4月26日から予約受付中で、接種開始は5月12日(水)からです。その他は5月4日(祝)から予約開始し、5月18日(火)から接種の開始を予定しています。

時 月～土曜日午後1時～4時、日曜日午前9時～正午、午後1時～4時。市民文化会館のみ日曜日は午前10時から **場** 市民文化会館、保健福祉総合センター、旧細河小学校体育館

医療機関

次の医療機関では、5月中旬から予約開始し、6月上旬から接種を開始する予定です。

予約は**いずれも市新型コロナワクチン接種コールセンターまたはインターネットから行ってください。**

【池田回生病院】

時 月～金曜日午後2時～4時 **場** 建石町8-47

【マックスール巽病院】

時 月～金曜日午後2時～4時 **場** 天神1-5-22

※この他市内の医療機関において接種できるように調整しており、いくつかの医療機関で接種できる予定です。

予約方法

電話で予約

市新型コロナワクチン接種コールセンター
☎0570・070・767(午前9時～午後5時)

「接種予約をしたい」ことと
接種券番号、
生年月日(西暦)を伝える

希望日時、場所を伝える

インターネットで予約

(予約システム2次元コード)



接種券番号、
生年月日(西暦)を入力する

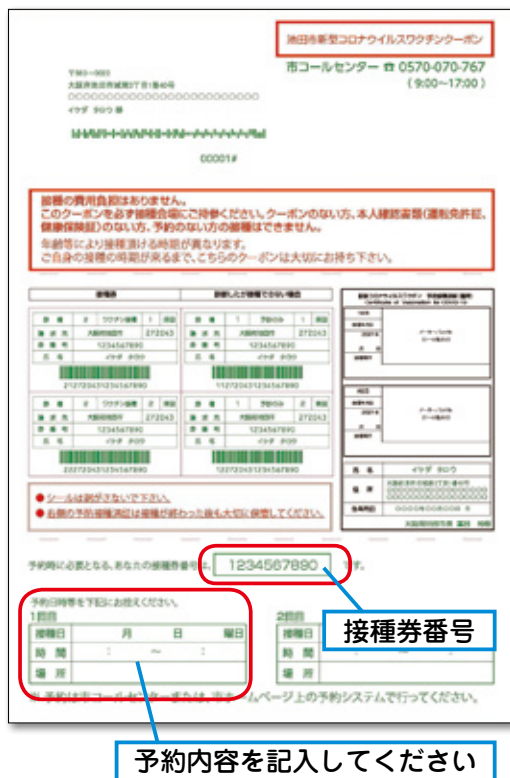
希望日時、場所を予約
(カレンダー形式で空き日程が表示されます)

クーポンの下部に予約日時と場所をご自身で記入

※必ずクーポンを切り離さず台紙ごと会場へお持ちください。

予約に関する注意事項

接種には必ず予約が必要です。接種予約の際に、特に注意が必要な点についてお知らせします。その他の詳細は、同封書類、市ホームページまたは市新型コロナワクチン接種コールセンターへご確認ください。



接種券番号と生年月日(西暦)が必要です

予約の際は、クーポン台紙に記載の接種券番号と生年月日(西暦)が必要になります。お手元に準備いただき、予約手続きをしてください。

住民票がある場所(住所地)以外での接種について

住民票のある市町村で受けることが原則ですが、例外として、実際にお住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります。実際にお住まいの市町村にお問い合わせください。

必ず本人の同意が必要です

現在何かの病気で治療中の方や、体調など接種に不安がある方、薬を常時服用している方は、**必ず事前にかかりつけ医などにご相談の上、接種を検討してください。**

当日はこのまま会場へお持ちください

当日は、クーポンを切り離さず台紙ごと会場へお持ちください。クーポンのない方、本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)のない方、予約していない方は、接種を受けられません。

接種当日の注意事項

予約日・接種場所は間違いありませんか

クーポンと本人確認書類をお忘れなく

これらがなければ、当日接種を受けることができません。

かかりつけ医への相談はお済みですか

何らかの病気で、治療・投薬中の方、その他接種について不安がある方は、必ず事前にかかりつけ医に相談してください。相談していないと、ワクチン接種できない場合があります。

肩を出しやすい服装ですか

明らかな発熱など、体調は悪くないですか



◀当日会場で記入する予診票の見本

※聴覚障がいのある方については、手話通訳者とビデオ通話するシステムを整備する予定です。介助者の会場内付き添いは可能ですので、受付でお申し出ください。

新型コロナワクチンに関する相談窓口

本市でのワクチン接種

時 午前9時～午後5時 **問** 市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0570・070・767

ワクチン全般や国の方針

時 午前9時～午後9時 **問** 厚生労働省新型コロナウイルスワクチンコールセンター ☎0120・761・770

健康被害など

時 24時間 **問** 府新型コロナウイルスワクチン専門相談窓口 ☎0570・012・336